

平成30年9月

青森県議会第295回定例会

公益社団法人青森県観光連盟
経営状況説明書

青 森 県

公益社団法人青森県観光連盟経営状況説明書を地方自治法
第243条の3第2項の規定により提出する。

平成30年9月21日

青森県知事 三 村 申 吾

1 平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度は、観光振興と青森県観光物産館管理運営のため、次の事業を実施するものである。

(1) 観光振興事業

① 観光開発推進事業

増加するインバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協同で観光コンテンツの発掘と磨き上げを行っていく。また本県情報に精通したアドバイザー等を活用し、周遊観光を促進するための旅行商品企画を創出し、周遊観光ルートの提案を行っていき、来訪者の増加及び観光消費の拡大による地域振興を図るものである。

ア 県内観光コンテンツ発掘調査

イ 旅行商品企画の創出

② 滞在促進型宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊を通じた滞在促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び実証実験を行うほか、実証実験を通じた魅力向上を図るための課題解決プログラム作成・普及を行うものである。

③ 観光資源の魅力向上による周遊促進モデル創出事業

県内観光産業の体質強化を図るため、宿泊施設の魅力向上に資する企画や周遊促進に繋がる地域イベント企画などモデル事例を創出するものである。

④ 地域食材活用メニュー創出事業

観光客の滞在を促進するため、著名シェフ等との連携による地域食材を活かしたメニューを開発し、モデル店舗での導入による海外観光客の利用促進を図るものである。

⑤ 二次交通連携・体験・滞在促進型プログラム企画創出・実証事業

観光客の体験・滞在促進を図るため、二次交通を含め「交通拠点」「主要観光地」「宿泊施設」を結ぶ半日程度のプログラムを構築し、実証実験を行うものである。

⑥ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施するものである。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

イ 教育旅行促進強化事業（県委託事業）

⑦ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開するものである。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

イ あおもりMICE誘致活動事業

ウ 大規模MICE開催費助成事業

⑧ 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や青森県・函館デスティネーションキャンペーンの効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、東日本旅客鉄道（株）や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの作成・配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図るものである。

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

イ 観光イベントガイドブックの作成

ウ リゾート列車の運行に係る協議会への参画

エ 広告宣伝の展開等

オ 観光イベント等への参画

カ 青森県観光セミナーの開催

キ 旅行商品造成対策

⑨ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線開業及び青森県・函館デスティネーションキャンペーンの効果を継続し、青函周遊観光を定着させるため、東日本旅客鉄道（株）等と連動したプロモーション活動を実施し、更なる認知度向上と誘客促進を図るものである。

ア PRイベントの実施・参加

イ 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施

ウ 博多どんたく港まつりにおけるPR

⑩ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県、市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行うものである。

⑪ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図るものである。

⑫ インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、決済機能の充実や受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大を図るものである。

- ア あおもりグローバルラウンジ運営事業
- イ 多言語案内機能端末を活用した体験メニュー・観光案内利用実証事業
- ウ 旅中観光客向け情報提供事業
- エ 国際観光推進連絡会議の開催
- オ 韓国誘客対策強化事業
- カ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業
- キ 韓国現地商談会実施等事業
- ク 台湾人観光客誘致拡大事業
- ケ 国際チャーター便誘致促進事業
- コ 青森スキープロモーション事業

⑬ その他観光振興事業

マーケティング活動の強化や観光客を温かくもてなすための気運醸成、本県の観光振興の中核となる人材育成や広域観光の推進を図るものである。

- ア マーケティング推進事業
- イ 「もてなしの心」運動推進事業
- ウ 観光案内所連携強化事業
- エ 人材育成研修事業
- オ 観光功労者表彰
- カ 観光振興事業
- キ 広域観光振興事業

(2) 青森県観光物産館管理運営事業

① 観光資源紹介事業

これまで、世界でも数館といわれる360度全周映像のパノラマ映画を上映してきたが、フィルム映写機等機材の老朽化等を踏まえ、映写設備のデジタル化及び音響設備の全面更新を行い、インバウンドを含めた観光客に本県の四季や祭り、まだ訪れていない地域の魅力を臨場感とエンターテインメント性あふれる映像と音響で年間を通して疑似体験させるとともに、スクリーンを活用し、企業等のフォーラムや製品の発表会等新たなサービスも提供するものである。

また、13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめるが、今年度は夜間の利用時間の延長等を行い、さらなる魅力アップを図っていくものである。

さらに、館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。特に、これまでの主催イベントを、想定するターゲット別（インバウンド向け・県外客向け・地元向け等）に分類した上で、その客層に向けて、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識した話題性の高いイベントを展開するものである。

② 貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出し、本県観光及び産業の振興に寄与するものである。

③ 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの観光客や外国人観光客に向けて地場産品等を紹介・宣伝し、販路拡大とPRを図るとともに、新たな地場産品等を店頭でテストマーケティング等するほか、多言語による地場産品紹介や電子決済機能の充実など、利用者の利便性や満足度向上を図るものである。

④ 地場産品等の販路拡大と商品開発等

こだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供するほか、県産酒等のPRも新たに行うものである。

⑤ 外国人観光客向けの県産品PR機能の強化

近年来店が増加している外国人観光客向けに、多言語商品案内アプリ「Payke」等を活用した特設コーナーを設置し、商品情報の発信や認知度向上、さらには外国人の嗜好性が高い商品等のマーケティングを実施するほか、中華圏をはじめとするスマートフォン決済システムを導入し、受入体制の整備を図るものである。

⑥ テナント事業

本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供することにより、本県の産業振興と雇用促進を図るものである。

⑦ 市町村ホール等運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、青森県観光物産館1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介するほか、市町村ホールでは、観光PR展示パネル等を一新し、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を運営するものである。

また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催するほか、ねぶた祭りの囃子講習会を開催するものである。

(3) 収益事業

① イベントスペース・貸会議室事業

青森県観光物産館のイベントスペース及び会議室など、あらゆるスペースを有効に活用し、収益の大きな柱として増収を図るため、営業専任担当者を配置し、県内から近県、さらには首都圏まで、幅広い営業活動を行うとともに、利用者の利便性向上のため、インターネットを活用した予約システムの高度化等を行うものである。

② テナント事業

青森県観光物産館には、これまで土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させていたが、本年2月には、新たに市内の法人等を新規入居させたところであり、安定収益の確保を図りながら、来訪者の購買意欲や満足度を向上を図るものである。

③ 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館の一般及びバス駐車場は、国内外の旅行者のみならず、会議室利用者やイベント参加者等からの利用も多く、収益の大きな柱になっていることから、一層の売り上げ拡大を図るため、新たな精算システムの導入等による利便性の向上や、会議室等の営業に合わせて駐車場の利便性・優位性についてPRするとともに、近隣のホテル・企業への月極駐車場の営業や、大型バスの営業についても県内・県外関係団体等へPRするものである。

④ 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を世の中に出していくため、主催旅行を中心とした旅行商品化を行い、青森県観光物産館内の「あおりグローバルラウンジ」等で販売するものである。

2 平成29年度事業実績

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成29年度の事業実績は、次のとおりである。

(1) 観光振興事業

① 観光情報発信事業

青森ならではの観光情報を県内外へ発信するため、青森県観光物産館に設置した青森県観光情報センターや青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理、生活者・消費者の行動に影響を与えるキーインフルエンサーの獲得による情報発信の強化などを行ったものである。

ア 青森県観光情報センター運営事業

イ 青森県観光情報ネットワークシステム運営事業

ウ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

② 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施したものである。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

イ 教育旅行誘致資料等の制作

ウ 教育旅行実施状況調査の実施（県委託事業）

エ 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供

③ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開したものである。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

イ あおもりMICE誘致活動事業

ウ 大規模MICE開催費助成事業

④ 外国人観光客誘致拡大事業

韓国・台湾を中心とした東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国人観光客受入体制の充実・強化を図ったものである。

- ア 国際観光推進連絡会議の開催
- イ 韓国誘客対策強化事業
- ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所事業
- エ 韓国現地商談会等事業
- オ 青森・ソウル線冬季増便誘客拡大事業
- カ 台湾人観光客誘致拡大事業
- キ チャーター便誘致促進事業
- ク ロケーションフォト誘致事業

⑤ 観光キャンペーン推進事業

東日本旅客鉄道（株）や北海道旅客鉄道（株）、（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、平成28年3月の北海道新幹線開業及び同年7～9月に開催した青森県・函館デスティネーションキャンペーンの効果を持続させるため、キャッチフレーズ「ひと旅 ふた旅、めぐる旅。青森・函館」とマスコットキャラクター「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施したものである。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等でのイベント等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図ったものである。

- ア 宣伝広報事業
- イ 誘客対策事業
- ウ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業
- エ アフターデスティネーションキャンペーン（アフターDC）推進事業

⑥ 受入体制整備事業

本県観光情報の発信や問合せへの対応、観光客を温かくもてなすための気運醸成など、受入体制の整備を図ったものである。

- ア 観光案内所運営事業
- イ 「もてなしの心」運動推進事業

⑦ その他観光振興事業

- ア 観光リーダー実践研修事業
- イ 観光功労者表彰
- ウ 観光振興事業
- エ 広域観光振興事業

(2) 青森県観光物産館管理運営事業

① 観光資源紹介事業

世界でも数館といわれる360度全周映像のパノラマ映画を上映し、県内全市町村の観光資源の魅力を迫力ある映像と外国語も含めた案内で紹介した。13階展望台では地上51メートルから、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、四季折々の360度の景観を俯瞰させ、コンシェルジュの説明等により、各種観光情報を紹介したものである。

また、館内外において、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントでは、朝取り野菜等の販売を行った「アスパム朝マルシェ」や「青森りんご」を徹底的に楽しむ「青森りんご大祭典」を開催するなど、新機軸の展開を行ったものである。

② 貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与したものである。

③ 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの来館者に対し、青森ならではのこだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝し、販路拡大と商品PRを図るとともに、消費者の反応や改良点を生産者にフィードバックし、今後の商品開発に向けた情報提供を行ったものである。

また、インバウンド向けの受入体制の強化として、多言語商品紹介アプリ「Payke」や中華圏向けスマートフォン決済アプリである「Alipay」「WeChatpay」の実証実験を行い、利便性の向上を図ったものである。

さらに、生産者の販路拡大と商品化へのアドバイスを行うため、西北地域県民局と連携し、生産者向けセミナーを実施したものである。

④ テナント事業

本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供することにより、本県の産業振興と雇用促進を図ったものである。

⑤ PRホール運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム1・2階において、市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介したほか、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力をPRする市町村ホール等を運営したものである。

また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催したものである。

(3) 収益事業

① イベントスペース・貸会議室事業

青森県観光物産館のイベントスペース及び会議室を各種会議や催事会場として貸出したものである。なお、会議室については、12月からインターネットで利用申し込みができる会議室予約システムを導入し、利便性の向上、業務の効率化を図ったものである。

② テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）において、青森県の物産と食の魅力を提供したほか、次の事業を実施したものである。また、市内の団体・企業2社に事務所スペースの貸出しを新たに行ったものである。

ア 中国人向けスマートフォン決済システムの試験導入

イ 日本人向けスマートフォン決済システムの導入

③ 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営したものである。なお、11月から有人ブースによる駐車料金精算から自動精算機による精算方法に変更し、委託料削減を図るとともに、駐車場料金体系の見直しを行い、駐車場収入の増収を図ったものである。

3 平成29年度決算報告書

(1) 貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	56,957,120	51,518,456	1,907,338	0	110,382,914
未収会費	870,000	0	0	0	870,000
未収金	17,030,426	3,936,685	0	0	20,967,111
前払金	935,608	15,811	0	0	951,419
立替金	882,102	0	0	0	882,102
棚卸資産	3,123,665	324,556	0	0	3,448,221
他会計へ振替	31,542,593	0	0	△31,542,593	0
流動資産合計	111,341,514	55,795,508	1,907,338	△31,542,593	137,501,767
2 固定資産					
(1)特定資産					
退職給付引当資産	42,081,067	13,861,401	306,237	0	56,248,705
出資金引当資産	20,500,000	0	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	21,205,910	2,885,475	0	0	24,091,385
預り保証金引当資産	0	16,996,000	0	0	16,996,000
特定資産合計	83,786,977	33,742,876	306,237	0	117,836,090
(2)その他固定資産					
展示物	32,128,041	27,135,936	34,681	0	59,298,658
什器備品	7,917,842	2,158,605	19,089	0	10,095,536
保証金	0	0	0	0	0
投資有価証券	0	1,500,000	0	0	1,500,000
その他固定資産合計	40,045,883	30,794,541	53,770	0	70,894,194
固定資産合計	123,832,860	64,537,417	360,007	0	188,730,284
資産合計	235,174,374	120,332,925	2,267,345	△31,542,593	326,232,051
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	30,368,749	881,120	152,401	0	31,402,270
前受金	0	3,122,113	0	0	3,122,113
預り金	1,389,900	0	510	0	1,390,410
仮受金	69,474	52,003	0	0	121,477
賞与引当金	3,264,148	1,364,319	102,182	0	4,730,649
他会計から振替	0	29,838,321	1,704,272	△31,542,593	0
流動負債合計	35,092,271	35,257,876	1,959,365	△31,542,593	40,766,919
2 固定負債					
退職給付引当金	42,081,067	13,861,401	306,237	0	56,248,705
預り保証金	0	16,996,000	0	0	16,996,000
固定負債合計	42,081,067	30,857,401	306,237	0	73,244,705
負債合計	77,173,338	66,115,277	2,265,602	△31,542,593	114,011,624
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
地方公共団体補助金等	20,500,000	0	0	0	20,500,000
指定正味財産合計	20,500,000	0	0	0	20,500,000
(うち特定資産への充当額)	(20,500,000)	(0)	(0)	(0)	(20,500,000)
2 一般正味財産	137,501,036	54,217,648	1,743	0	191,720,427
(うち特定資産への充当額)	(21,205,910)	(2,885,475)	(0)	(0)	(24,091,385)
正味財産合計	158,001,036	54,217,648	1,743	0	212,220,427
負債及び正味財産合計	235,174,374	120,332,925	2,267,345	△31,542,593	326,232,051

(2) 正味財産増減計算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

科 目	公益目的事業会計		
	観光振興事業	青森県観光物産館 管理運営事業	共 通
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	2,044
受取事業収益	42,463,874	0	0
観光振興事業	100,934,199	116,261,501	0
青森県観光物産館	100,934,199	0	0
管理運営事業	0	116,261,501	0
青森県観光物産館イベント	0	0	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
駐車場管理運営事業	0	0	0
受取補助金等	19,559,770	5,448,770	0
受取負担金	770,000	0	0
雑収益	132,508	610,284	0
(2) 経常費用	163,860,351	122,320,555	2,044
経常業務費	179,681,632	174,986,108	24,965,739
経常管理費	0	0	0
経常費用	179,681,632	174,986,108	24,965,739
当期経常増減額	△15,821,281	△52,665,553	△24,963,695
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	65,617,017
当期一般正味財産増減額	△15,821,281	△52,665,553	40,653,322
一般正味財産期首残高	△33,775,426	△128,720,566	327,830,540
一般正味財産期末残高	△49,596,707	△181,386,119	368,483,862
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	20,500,000
指定正味財産期末残高	0	0	20,500,000
III 正味財産期末残高	△49,596,707	△181,386,119	388,983,862

(注) 重要な非損益取引

1 公益目的事業会計	
固定資産取得支出	
展示物購入支出	3,138,399円
什器備品購入支出	1,633,284円
2 収益事業等会計	
固定資産取得支出	
什器備品購入支出	491,400円

(単位 円)

収 益 事 業 等 会 計				
小 計	青森県観光物産館 イベントスペース・ 貸会議室事業	青森県観光物産館 テナント賃貸事業	青森県観光物産館 駐車場管理運 営事業	共 通
2,044	0	0	0	0
42,463,874	0	0	0	0
217,195,700	55,224,378	103,910,365	48,307,476	904,610
100,934,199	0	0	0	0
116,261,501	0	0	0	904,610
0	55,224,378	0	0	0
0	0	103,910,365	0	0
0	0	0	48,307,476	0
25,008,540	948,770	948,770	948,770	0
770,000	0	0	0	0
742,792	0	750,000	0	91,288
286,182,950	56,173,148	105,609,135	49,256,246	995,898
379,633,479	45,308,465	40,353,417	26,694,653	31,496,651
0	0	0	0	0
379,633,479	45,308,465	40,353,417	26,694,653	31,496,651
△93,450,529	10,864,683	65,255,718	22,561,593	△30,500,753
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
65,617,017	0	0	0	△65,617,017
△27,833,512	10,864,683	65,255,718	22,561,593	△96,117,770
165,334,548	28,335,122	132,870,090	41,652,871	△151,204,659
137,501,036	39,199,805	198,125,808	64,214,464	△247,322,429
0	0	0	0	0
20,500,000	0	0	0	0
20,500,000	0	0	0	0
158,001,036	39,199,805	198,125,808	64,214,464	△247,322,429

科 目	収益事業等会計		法 人 会 計	内部取引消去
	小	計		
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	0	0	0	0
受取事業費	0	7,493,625	0	0
観光振興事業	208,346,829	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0	0
管理運営事業	904,610	0	0	0
青森県観光物産館イベント	55,224,378	0	0	0
スペース・貸会議室事業	103,910,365	0	0	0
青森県観光物産館テナント賃貸事業	48,307,476	0	0	0
青森県観光物産館駐車場管理運営事業	2,846,310	1,837,150	0	0
受取補助金等	0	0	0	0
受取負担金	841,288	2,800	0	0
経常収益計	212,034,427	9,333,575	0	0
(2) 経常費用				
経常業務費	143,853,186	0	0	0
経常管理費	0	9,331,832	0	0
経常費用計	143,853,186	9,331,832	0	0
当期経常増減額	68,181,241	1,743	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	△65,617,017	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,564,224	1,743	0	0
一般正味財産期首残高	51,653,424	0	0	0
一般正味財産期末残高	54,217,648	1,743	0	0
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,217,648	1,743	0	0

(単位 円)

合 計
2,044
49,957,499
425,542,529
100,934,199
117,166,111
55,224,378
103,910,365
48,307,476
29,692,000
770,000
1,586,880
507,550,952
523,486,665
9,331,832
532,818,497
△25,267,545
0
0
0
0
△25,267,545
216,987,972
191,720,427
0
20,500,000
20,500,000
212,220,427

(3) 財 産 目 録

(平成30年3月31日現在)

(単位 円)

貸借対照表科目		金 額
(流動資産)		
	現金預金	110,382,914
	未収会費	870,000
	未収金	20,967,111
	前払金	951,419
	立替金	882,102
	棚卸資産	3,448,221
流動資産合計		137,501,767
(固定資産)		
特定資産		
	退職給付引当資産	56,248,705
	出資金引当預金	20,500,000
	活性化積立資産	24,091,385
	預り保証金引当資産	16,996,000
		117,836,090
その他固定資産		
	展示物	59,298,658
	什器備品	10,095,536
	投資有価証券	1,500,000
		70,894,194
固定資産合計		188,730,284
資 産 合 計		326,232,051
(流動負債)		
	未払金	31,402,270
	前受金	3,122,113
	預り金	1,390,410
	仮受金	121,477
	賞与引当金	4,730,649
流動負債合計		40,766,919
(固定負債)		
	退職給付引当金	56,248,705
	預り保証金	16,996,000
固定負債合計		73,244,705
負 債 合 計		114,011,624
正 味 財 産		212,220,427

(4) 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有、関連会社以外の有価証券・・・移動平均法に基づく原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
展示物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
出資金引当預金	20,500,000	0	0	20,500,000
退職給付引当資産	53,404,147	2,844,558	0	56,248,705
活性化積立引当資産	24,091,385	0	0	24,091,385
預り保証金引当資産	16,996,000	0	0	16,996,000
合 計	114,991,532	2,844,558	0	117,836,090

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特 定 資 産				
出資金引当預金	20,500,000	(20,500,000)	(0)	(-)
退職給付引当資産	56,248,705	(0)	(0)	(56,248,705)
活性化積立引当資産	24,091,385	(0)	(24,091,385)	(-)
預り保証金引当資産	16,996,000	(0)	(0)	(16,996,000)
合 計	117,836,090	(20,500,000)	(24,091,385)	(73,244,705)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
展 示 物	660,844,207	601,545,549	59,298,658
什 器 備 品	188,620,331	178,524,795	10,095,536
合 計	849,464,538	780,070,344	69,394,194

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
観光事業振興費補助金	青森県	0	1,000,000	1,000,000	0	-
「もてなしの心」 運動推進事業費補助金	青森県	0	330,000	330,000	0	-
あおりMICE 誘致活動事業費補助金	青森県	0	800,000	800,000	0	-
あおり大規模M ICE開催費助成 事業費補助金	青森県	0	11,900,000	11,900,000	0	-
青森県観光連盟運 営費補助金	青森県	0	11,162,000	11,162,000	0	-
青森県観光物産館 アスパム内市町村 ホール管理運営費 補助金	(公財) 青森 県市町村振興 協会	0	4,500,000	4,500,000	0	-
合 計		0	29,692,000	29,692,000	0	

6 その他

(1) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

中退共制度と退職給付引当金を併存している。

② 退職給付会計の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(2) 特定資産

① 活性化積立引当資産

青森県観光物産館管理運営における活性化及び青森県観光物産館アスパム活性化検討委員会提言による活性化策に備え計上している。

(5) 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略している。

2 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	4,566,927	4,730,649	4,566,927	0	4,730,649
退職給付引当金	53,404,147	2,844,558	0	0	56,248,705